

「ガラスの平和、そして福祉」

長岡市身体障害者団体連合会会長 藤田芳雄

雪国にもようやく遅い春がやって来て、山々の木々は新緑に萌えています。私たち身障連傘下の各協会も、これまでは新型コロナ感染対策のために見送ってきた新年度総会を3年ぶりに開催するなど、新たな希望に胸を膨らませています。

しかし、目を転じれば、年明け早々から始まったロシアによるウクライナ侵攻、最近では知床半島の観光船遭難事故など、世界の安全保障や安全対策など、21世紀の現在では考えられないような事件、事故が連日マスコミをにぎわし、胸をえぐられるような日々が続いています。



とりわけ戦禍のウクライナには、270万人の障害者がいると言われ、当然寝たぎりの重度の障害者も相当数おられることと思います。

BSニュースでは、爆撃を受けた1歳の赤ん坊が必死の蘇生措置を行うものの、病院で亡くなり、大声で泣きながらその子を抱く母親の姿。戦火を逃れ、家族と共に国外に避難するため6歳前後の子供が、肩にかけたカバンを引きずり、恐らく前を歩いている親に言われ、大声で泣きながら歩く姿が映像で伝えられています。

私が今でも強く記憶に残っているのは、砲弾で片腕を失い、病院に担ぎ込まれた少女がベッドの中で看護師に「私の腕、もう無いの？私は大丈夫だから本当のことを教えて！正直に答えて！」と訴える言葉が強く耳に残っています。

悪いのはプーチンだけではない。それを赦した

ロシア国民にも大きな責任があります。ロシア政府のプロパガンダによる情報操作、そして同時に真実を知ろうとせず、多くの人々が亡くなる現実を直視しないロシア国民…

二度の世界大戦により、人類は平和を維持する知恵とルールを学んだはずでした。「核」の脅威を振りかざしてやりたい放題のプーチン。核は抑止力になるどころか、今や和平の障害物になっています。今、長い年月をかけて築き上げてきたガラスの平和はもろくも崩れ去ってしまいました。多くの血と涙が流され、爆撃により、今日も多く命が失われ、障害者が生まれています。

障害がある私たちからもロシアに対し、世界の人々に対し、強く訴えたいと思います。戦争に勝者は無い。あるのは黒く焼け落ちた焦土と、傷ついた人の心、そして障害とともに生き続けなければならない人々の姿だけです。

目を福祉政策に転じると、長い年月をかけ、多くの先人の努力で築きあげられてきた福祉制度、当事者である私たち自身をはじめ、すべての人たちの知恵と力で守り続けていかなければならないことを、今、ロシアのウクライナ侵略であらためて強く感じています。

ふるさとの緑が永遠に続くことを祈りながら…



【発行人】
長岡市身体障害者団体連合会
会長：藤田芳雄
令和4年春号

長岡市障害者相談員のご紹介

長岡市障害者相談員（身体障害）は、当連合会からの推薦を経て、長岡市から委託されています。無償で障害者やご家族などからの相談にのっています。困りごとなどお気軽に下記の相談員にご相談ください。

○長岡市肢体障害者協会

田辺範男 電話34-4644
近藤哲雄 電話27-4823
土田清海 電話33-7150

○長岡視覚障害者福祉協会

五十嵐政男 電話33-6844

○長岡市ろうあ者福祉協会

平野昌夫 FAX25-2900

○栃尾身体障害者福祉協会

佐藤豊徳 電話52-3030

○中之島身体障害者福祉協会

小林信栄 電話66-6176

○川口身体障害者福祉協会

大淵時江 電話89-3612

○和島地域担当

佐々木雅敏 電話74-2838

令和4年度第1回理事会開催！

令和4年度1回理事会が4月24日にトモシアで開催され、①前回理事会からの経過報告
②令和3年度事業報告、同決算、令和4年度事業計画案、同予算案、③当面の行事などについて協議されました。

ここでは、令和3年度活動報告、決算、令和4年度事業計画、予算について報告します。

令和3年度事業は、新型コロナウイルス感染症の蔓延により、会員が多く集まる行事は開催できませんでした。主な実施事業・行事は、

7月15日(木) ANAクラウンプラザホテル新潟

第54回新潟県身体障害者福祉大会、

令和3年度地域団体研修会・会員総会

7月25日(日) 平和の森公園

第21回平和の森公園清掃ボランティア

10月20日(水) トモシア

長岡市との意見交換会 など

長岡身障連かわら版は、第20号から23号まで4回発行しました。

令和3年度決算は、総額711,093円でした。

主な収入は、会費等16万9千円、市補助金4万円、赤い羽根共同募金10万円、日本身体障害者団体連合会(日身連)カタログ販売手数料等14万円、自動販売機手数料19万円、第五地区相談員の会(長岡市相談員)から寄付金3万4千円、繰越金3万8千円などです。

支出は、県身連への負担金8万9千円、事業費2万6千円、研修会・会議費9万8千円、事務的経費5万5千円、役員手当11万5千円、各種会議打合せ費用弁償5万8千円、記念事業特別会計へ繰出し24万円、次年度繰越金3万円余となっています。(各項目とも千円未満の端数調整)

令和4年度事業計画の主なものは、

7月12日(火) 新潟ふれ愛プラザ

第55回新潟県身体障害者福祉大会、

令和4年度地域団体研修会・会員総会
7月24日(日) 平和の森公園

第22回平和の森公園清掃ボランティア
8月7日(日) アオーレ交流ホールA

長岡市身障連第5回納涼まつり

9月8日(木) 新潟ふれ愛プラザ

第12回プラザふれあい交流会

(囲碁、将棋、麻雀)

10月4日(火) 新潟ふれ愛プラザ

第30回ミュージックふれあい交流会

10月 長岡市との意見交換会(日は未定)

10~11月 長岡市障害者相談員研修会

(日は未定)

令和5年

1月22日(日) トモシア

長岡市身障連 新年合同交流会 など

令和4年度予算は、総額66万円です。

主な収入は、会費16万4千円、市補助金4万円、赤い羽根共同募金10万円、全身連カタログ販売手数料等10万3千円、自動販売機手数料等18万3千円記念事業特別会計繰入金4万円、繰越金3万円を予定しています。

支出は、県身連負担金8万6千円、事業費12万5千円、研修会・会議費12万円、協会活動助成金等3万5千円、事務的経費8万5千円、役員手当12万円、各種会議打合せ費用弁償7万円、予備費等1万9千円を予定しています。

記念事業特別会計は、令和3年度末で126万3千円となっています。(各項目とも千円未満の端数調整)

第22回平和の森公園

清掃ボランティアのお知らせ

と き: 7月17日(日曜日)7時から

と ころ: 平和の森公園

※ 作業は1時間半程度

※ 雨天の場合は中止します

※ お申し込みは各協会へお願いします

ザ・チャレンジド【第2回】

この春、見事採用試験に合格して 長岡市職員となった金子隼士さん (脳性麻痺・30歳)

欧米では障害者を「チャレンジド」と呼ぶ。

このコーナーでは障害がありながらスポーツや文化、ボランティア活動、そして社会における様々な場面で活躍する人たちの姿を浮き彫りにし、障害者への理解の促進につなげたいと企画した。



金子さんは脳性麻痺という障害がありながら日本大学物理学部に進学するが一度中退し、新潟経営大学へ進み、麻痺と闘いながら経営学や情報分野などの勉強を積んだ。

平成27年から長岡市社会福祉協議会の職員に採用され、7年間、社協職員として社会福祉の充実にあたってきた。

彼は病気の影響で発語がうまくできない。社協の利用者などとのやり取りにも時間がかかる。「話が通じないから他の人に代わってくれ」と言われたことも少なくない。自分でもイライラすることもあったが、これだけはどうしようもない。

しかし、職場の皆さんはこれを理解してくれ、暖かく見守ってくれた。「仕事も楽しく、やりがいもある職場で、職員にも大変恵まれました」と金子さんは言う。

しかし、彼にはやりたいことがまだまだたくさんあった。仕事を通じ、自分の限界に挑戦してみたい。自分の存在を確かめたいという思いが徐々に強くなっていった。障害があるからといって、あきらめたくはなかった。

彼の父も長年、市の職員として企画部長などで

頑張ってきた。金子さんもその父の後ろ姿を見て育ってきた。しかし、その父が市の職員として現役で頑張っていた最中、病気で倒れ、今はベッドで病と闘っている。

金子さんは学生時代、将来は福祉の仕事につきたいと思って、これを目標に勉強してきた。しかし、父の仕事を見ているうちに、次第に福祉だけではなく、活力ある街づくりや都市経営、米百俵を生かした観光事業などにも挑戦したいと思うようになった。

「父のように様々な仕事に関わり、少しでも皆さんに喜んでもらえるような街づくりに関わりたい!」。父が病気で倒れた後、そんな思いが金子さんの胸の奥で次第に強くなっていった。

そんな金子さんも子供時代、決して順調な日々ではなく、障害をマネされたり、運動では仲間外れにされたことも多かった。それが原因で中学、高校と不登校の日々も少なくはなかった。

そのため金子さんは、「しゃべりや手の動きが不自由で、今までずっと自分は人より劣っていると思い続けていた。しかし、いつの日か周り(自分の障害を)それほど強く思っていなかったことに気がついた」と言う。

それからは気持ちが軽くなり、前向きに生きれるようになったと振り返る。

金子さんはこの春まで長岡市身体障害者団体連合会の事務局次長として4年間、障害者福祉の前進、組織の発展に縁の下の力持ちで頑張ってきた。

これからは長岡市の職員として、弱い立場にある人の身になって頑張りたいと言う。

前向きな金子さんだが、「ただ今恋人募集中!(照れ)」とのこと。(文責:藤田)



第5回長岡市身障連納涼まつり【予定】

8月7日(日曜日)午後1時30分から

会場 アオーレ長岡 参加費 1,000円

※ 詳細は今後発行のチラシを参照ください!

※ 新型コロナの感染状況により変更になる場合があります



設立50周年記念事業 障害者川柳 その5

聴覚障害者との心のこもった コミュニケーションのために

本連合会では昨年、設立50周年事業のひとつとして、全国から「障害者川柳」を募集しました。

このコーナーでは寄せられた1,400句の応募作品の中からピックアップして、毎号解説を添えてご紹介します。

障害者の日々の暮らしや思い、言いたいことなどが、5・7・5の短い言葉で、笑いとペースの中から見えてきます。

解説 室井 泉柳

切れた弦 そこから生まれる 歌がある 福島県 男

【解説】 障害を「切れた弦」と表現しています。数本の弦のうちの1本でしょうか？

でも1本くらい無くても、完璧でなくても、歌は歌えます。思いは表現できます。そして新しい歌が生まれるかもしれません。

入選作品のひとつで、私も大好きな作品です。

行くたびに バリアフリーが 進む店 のらくら 兵庫県 男

【解説】 「バリアフリー」は絵に描いた餅ではありません。やはり「使って」初めて生きるもの。お店や施設に実際に足を運んで初めて生きたバリアフリーになり、それを管理する人たちとの心の交流が生まれます。

好きなのは イケメンよりも イケボイス 愛知県 男

【解説】 恐らく健常者の方でしょうが、作者は女性の視覚障害者の立場で句を詠んでいます。

私たち視覚障害者は見えない代わりに顔やその表情を声のトーンで、いろいろと頭に思い描きます。

時に「声」に「恋」することだってあります。



⑥ 少しお待ちください



少し・ちょっと・少ない(量等)・僅か・ちょっぴり

【少し】

・右手の人差し指の指先を付けたらピッとほじく様にこすります。



待つ・待機

【待つ】

・右の4指を付け根からまげて、顎の下に当てる。



頼む・願う・お願い・依頼

【頼む・願う】

・少し頭をさげて顔の正面で斜めに構えた右手を少し前に出します。

【編集後記】

3ページのザ・チャレンジドにありますように、今まで事務局次長として一緒にかわら版編集をはじめ運営に力を発揮していただいた金子さんが抜けられて、あらためてその役割の大きさに感謝しています。

そこで、事務局のお手伝い(薄謝あり)をやっていただける方を募集しています。年齢や性別は問いませんので気軽にお声がけください。

今年の桜は例年より少し遅れ、入園式や入学式には間に合いませんでしたが、その後ポカポカ陽気に恵まれあつという間に満開。ところが1週間後に悪天候がやってきて無残にも散ってしまいました。ただ、地面にピンクの花びらのじゅうたんが敷かれて2度楽しむことができました。

さて、コロナ禍で長引くマスク生活、口元を動かす機会が減ると表情筋が衰え硬くなる恐れがあるようです。口角をしっかり上げて口を大きく開けて、「あーいーうーべー」と思いきり舌を出して顔の運動不足を解消し表情筋を鍛えましょう。(K・K)

【事務局連絡先】

※ 投稿及び連絡は下記メールをお願いします。

メール : nagaokasinsyou@yahoo.co.jp
QRコードからもOK!



ホームページ :

<http://shinsyoren.web.fc2.com/>
QRコードからもOK!

